

創立 1980年10月8日



ROTARY CLUB OF SAKAI NORTH

第2640地区 堺北ロータリークラブ週報

事務所 〒590-0024 堺市堺区向陵中町2丁5-10 杉本ビル5-B・Tel:(072)255-1200 番

例会日 毎週金曜日 午後0時30分

例会場 PANTARON Tel:(072)228-3988 番 (魚太郎直通電話)

URL : <http://www.sakai-kita.jp/>

E-mail : snrc@jasmine.ocn.ne.jp

ガバナー(第2640地区) 辻 秀和(ツジ ヒデカズ)

ガバナー事務所 URL : <http://www.rid2640g.org/tsuji/>

E-mail : tsuji2014-d2640@ivy.ocn.ne.jp

会長: 山ノ内修一 幹事: 塩見 守 広報委員長: 坂田兼則 編集者: 藤永 誉

四つのテスト 言行はこれに照らしてから 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

本日の例会

2015年6月5日(金)第1664回

「第4回クラブアッセンブリー」

今週の歌 「君が代」

「奉仕の理想」

「バースディソング」

お客様の紹介

出席報告 会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA報告

○会員・奥様誕生祝い(6月度)

笹山悦夫会員(5日) 泉谷 順子様(9日)

○結婚記念祝い(6月度)

木畑 清会員(1日) 辰正 博会員(3日)

坂田兼則会員(4日)

次回の例会

2015年6月12日(金)第1665回

「会長退任の挨拶」

前回の例会

2015年5月29日(金)第1663回

例会場変更 於: 南海グリル

卓話 「ヴァイオリンの話」

卓話者 堺おおいずみRC会員

西尾 幸祐 氏

紹介者 山ノ内 修一会長

今週の歌 「我等の生業」

「朧月夜」

お客様の紹介

出席報告 会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA報告

<5月29日(金)の出席報告>

会員数 32名

出席会員 21名

欠席会員 11名

ビジター 1名

ゲスト 1名

4月17日(金)の出席率 84.38%



2014-15年度 国際ロータリーのテーマ

「ロータリーに輝きを」

Light Up Rotary

国際ロータリー会長 ゲイリーC.K.ホアン (台湾・台北RC)

卓 話

「ヴァイオリンの話」

卓話者 塚おおいずみRC会員
西尾 幸祐 様
(紹介者：山ノ内修一会長)



現在クラシック音楽、特にオーケストラの中心になっている楽器バイオリンですが、今の形になったのは350年～400年前です。

3大名器と言われるアマティ、ストラディバリ、ガルネリがイタリアのクレモナで制作されたのは1650年～1750年頃で、バッハらが活躍したバロック音楽の時代に重なります。

驚いたことにその頃の楽器が現在も超高値で取引されています。

現在のバイオリン製作者もその頃の楽器を元にして製法もほぼそのまま、一種のコピーを作っています。

バイオリンは小さな楽器ですが、表板と裏板の間に魂柱という小さな木の部品を立てることにより、楽器全体を振動させ、それが演奏者にも伝わって豊かな音となって聴衆に伝わります。

もちろん高級な楽器は一部の王侯貴族など上流階級が作者から買い上げクラシック音楽を奏でてきました。しかしそうでない楽器も多く作られ、これらはジプシーと呼ばれたロマ族の人が演奏したり、アイルランドでフィドルと呼ばれアメリカに渡ってカントリーやブルーグラスにも多く使われています。またタンゴの世界でもバンドネオンなどとともに中心となる楽器です。

日本でもオッペケペ・書生節など明治時代より弾かれていました。

ところが、なぜか現代の日本ではあまりポピュラーな楽器ではありません。私は高齢者施設などでよく弾かせていただきますが、生のバイオリンを初めて聴かれたとおっしゃる方がほとんどです。

今日は私の拙い演奏で申し訳ないのですが、もしバイオリンに興味を持っていただき、クラシックやタンゴなど、コンサートやライブでバイオリンの名手達の演奏を聴いていただくきっかけになればこんな嬉しいことはありません。

～演奏曲目～

1. ブーレ (バッハ)
2. サリーガーデン (アイルランド民謡)
3. 悲しい酒
4. エトピリカ
5. リベルタンゴ (ピアソラ)
6. ミスティ
7. 情熱大陸

会長の時間

「音楽の話」

会長 山ノ内修一



西尾さん、本日はよくお越し下さいました。後ほどの卓話楽しみにしています。西尾さんの卓話の関係で今日は音楽の話の少し。私は、60歳からピアノを習っています。やればやるほど「ピアノ」ってよく出来た楽器だと思います。右手でメロディーを、左手で和音を弾いて、左手とペダルでリズムを刻んで……。音楽の3つの要素をすべて出来るのです。「メロディー (旋律)」「ハーモニー (和音)」「リズム (拍子)」。ギター、ベース、ドラム、キーボード、等でバンドが編成されますが、ピアノは一人で全部出来る楽器です。西尾さんはヴァイオリンですが、ヴァイオリンの音色は非常に繊細で、物悲しい音色です。ヴァイオリンと言えば、思い出す有名な詩があります。ヴェルレーヌの「落ち葉」(または「秋の歌」と訳される)。上田敏の訳が有名で、ご存知の方も多かろうと思います。

秋の日の
ヴァイオリンの
ため息の
ひたぶるに
身にしみて
うら悲し

鐘の音に
胸ふたぎ
色かへて
涙ぐむ
過ぎし日の
おもひでや

げにわれは
うらぶれて
ここかしこ
さだめなく
とび散らふ
落ち葉かな



嬉しいにつけ、悲しいにつけ音楽は人の心を慰めてくれます。

「クラシック」「ポップス」「歌謡曲」ジャンルは違っても人生に音楽はつき物です。いい音楽をたくさん聴きたいものです。

委員会報告

親睦活動委員会

「2015-16 年度親睦委員会会議のご案内」

2015-16 年度親睦活動委員長 城岡 陽志



下記の通り会議を開催いたしますので、委員の皆様ご出席下さいますようお願い申し上げます。

記

日時： 平成 27 年 6 月 12 日(金)18 : 00～

場所： すし亭 幹

議題： 次年度親睦委員会活動計画について 以上

歩こう会

「第 9 回堺国際ツォーデーマーチ参加者募集のご案内」

世話人 中川 澄



平素は何かとお世話になり誠にありがとうございます。

堺北ロータリークラブ歩こう会の恒例行事ともいべき堺国際ツォーデーマーチの季節がやってまいりました。今年は 6 月 7 日 (日) の 10km コースを皆様と歩きたいと考えております。ご家族、ご友人お誘い合わせの上、ご参加下さい。

6 月 7 日 (日)

集合場所：大仙公園催し広場

集合時刻：午前 9 時 (午前 9 時 15 分出発式、午前 9 時 30 分出発)

今年は、事前申込みをいたしませんので、当日現地にて各自受付して頂きますようお願い致します。参加費は、1,000 円で、現地で受付の時にお支払い下さい。

S A A 報告

那須宗弘会員 西尾幸祐様、ようお越し下さいました。お話し楽しみにしています。

山ノ内修一会員 西尾さん、ようこそお越し下さいました。卓話楽しみにしています。

山ノ内修一会員 澤井さん、ライラセミナーの成功を祈ります。

嶽盛和三会員 西尾様卓話ありがとうございます。楽しみにしております。

中田 学会員 中川会員、北輪会優勝おめでとうございます。

澤井久和会員 楠木さん、今日はありがとうございます。入会お待ちしております。いいクラブですよ。メンバーも最高ですよ。

塩見 守会員 楠木さん、ようこそ堺北 RC へお越し下さいました。後で名刺交換して下さい。

塩見 守会員 西尾様、本日はようこそ堺北 RC へお越し下さいました。ヴァイオリンの話楽しみにしています。

笹山悦夫会員 山ノ内会長、中田さん、先日の北輪会では大変お世話になりました。「さすがロータリーやな」と友人も大変よろこんでいました。また参加したいとのことです。

計 22,000 円

幹事報告

(1)配布物 週報

(2)幹事報告

・次週は第 4 回クラブアッセンブリーを開催いたします。

報告書はアッセンブリー終了後までに事務局へお渡し下さいますようお願い申し上げます。

(3)他クラブ例会変更のお知らせ

・高石ロータリークラブ

6月23日(火)→同日18:30から「最終例会・親睦互礼会」に変更。

於：南海グリル ポピア南海 地下1F (ポピアガーデン)

6月30日(火)→定款第6条第一節により休会

ハイライトよねやま 182

ネパール大地震について

4月25日にネパールで大地震が発生し、甚大な被害が出ていることに心よりお見舞い申し上げます。米山記念奨学会では、これまでに支援したネパール出身の奨学生・学友211人のうち、メールアドレスをもつ185人にお見舞いメールを出しました。現在、安否確認ができた学友は70人ほどで、「実家の自宅が全壊した」「母が亡くなった」「自宅がなくなり、避難所にいる」などの返信が届いています。ネパール出身の学友を中心に、個人や学友会、ロータリー地区単位での支援活動も広がりつつあります。米山学友のジガン・クマル・タパさんとエソダ・バスネットさんご夫妻は、地震発生直後から在日ネパール人たちと協力し、まずは必要なところへ緊急支援をしたいと奔走中です。日本ネパール協会理事をつとめるタパさんは、5月7日から寝袋や女性用品、軍手、マスクなど緊急物資をネパールに運び、被害の大きい村々をまわりながら、瓦礫撤去のボランティア、信頼できる現地団体への支援を行いつつ、現地情報を収集しています。

ネパール出身の米山学友ピカス・ラムサルさんは、足利工業大学で仲間とともに日々募金を呼び掛けています。米山学友が中心となって設立した東京米山友愛RCでも、ネパール支援のための義援金を広く呼びかけています。今年度クラブ会長のギリ・ラムさんはネパール出身で、現地との連携チームを作り、山間部で支援の手が届かないエリアを中心に支援していきたいとのこと。

当会も義援金窓口を設置しています(詳細はHPをご覧ください)。6月22日着金分までを第1弾としてネパール米山学友会へ送金します。同学友会では現在、スレス会長を中心に水の確保や小学校再建など使途を検討中です。決定次第ご報告いたします。



仲間と日々寄付を呼び掛けるピカス・ラムサルさん



がれき撤去をするタパさん
(右から4番目、フェイスブックより)